

私の散歩道③ 平塚八景湘南潮来

日時：2020年5月10日（日） 天候：晴のち曇 約14km 歩数20809歩

コース：自宅→なぎさプロムナード→平塚駅南口広場～須馬踏切～高久製パン→馬入一里塚→丁髷塚→蓮光寺→馬入の渡し跡→光と風の花づつみ→水辺の楽校→国道1号線馬入橋→JR東海道線鉄橋→馬入橋水位水質観測所→湘南潮来→平塚漁港→湘南大橋→相模川河口→札の辻跡→三島神社→自宅

参加者：市村

私の住んでいる平塚には、景色の良い「平塚八景」が選定されています。①金目川と観音堂②七国峠・遠藤原③霧降の滝・松岩寺④湘南平⑤森の前鳥神社⑥八幡山公園⑦湘南潮来⑧平塚砂丘夕映えです。私としては湘南平が一番馴染みのコースです。北西の端の七国峠・遠藤原には行ったことがありません。今回は湘南潮来を歩きました。

5月10日、自宅を出て相模川右岸の「水辺の楽校」まで行き、南下して平塚八景の湘南潮来～自宅へ戻るコース。3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接会話）を避けての地元ウォーキングです。

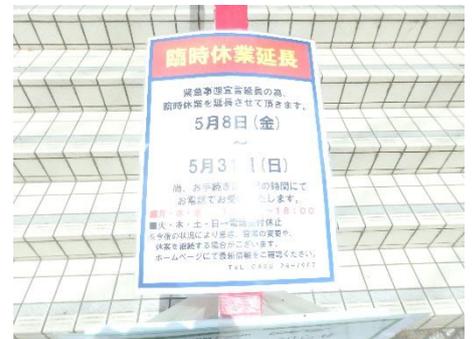
政府は5月4日、新型コロナウイルス感染症対策本部の会合を開催。5月6日で期限が切れる緊急事態宣言について、全都道府県を対象に5月31日まで延長することを決定しました。新型コロナウイルス感染を乗り切るためには運動と栄養と人とのつながりが大事だと言われています。免疫力向上も期待してのウォーキングスタートです。



自宅～なぎさプロムナード～平塚駅南口広場～須馬踏切～高久製パン

今日のコースは起伏はなし、軽めのストレッチを行いマスク着用して10時スタート。天候は晴、風が少しあります。駅まで広い歩道が続いている平塚なぎさプロムナードを歩き平塚駅南口広場へ、人魚の像が設置されています。ボランティアの人が手入れをしている花壇にはバラなど色とりどりの花などが咲きほこっていました。

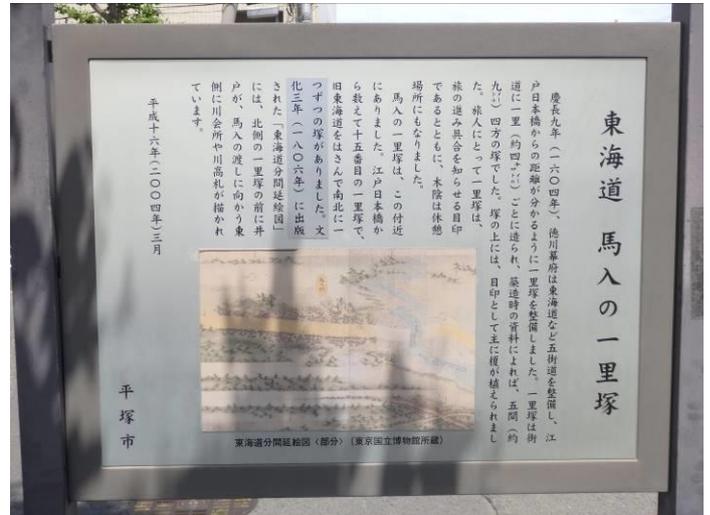
東海道線沿いを東へ進み代官町へ、スポーツジムの入口には「緊急事態宣言延長のため臨時休業を延長させていただきます。5月8日～5月31日」の貼り紙が出ていました。大型ショッピングセンターも人はまばらです。須賀と馬入を繋ぐ「須馬」踏切を渡り、地元の創業大正13年「高久製パン」へ。



食パンハウス～馬入一里塚～丁髷塚～ひらつか七福神布袋尊の蓮光寺

新型コロナウイルス感染拡大で学校が休校中、「子どもさんが休校！給食工場としてお助けできれば」と安売り。工場直結の食パンハウス前は、密を避けて一定の間隔で大勢の人が順番待ち。昼食用のパンを購入しました。

旧東海道へ出てイチョウ並木を東へ進み馬入本町へ入ります。東海道馬入の一里塚の石碑があります。江戸日本橋から数えて15番目の一里塚です。榎木町へ入り「神輿をめぐる争いで打ち首断罪の氏子16名に、代官が丁髷だけを切り落として打ち首に代えた」と伝えられている丁髷塚へ。すぐ近くの高野山真言宗蓮光寺へ、湘南ひらつか七福神巡りのお寺です。にこやかな布袋尊が迎えてくれました。



蓮光寺～ホテル庭園のバラ～新緑の馬入ふれあい公園～馬入の渡し跡

宝船に乗った七福神に送られて蓮光寺を出ました。「丁髷最中」が有名な和菓子屋さんの前を通り、ホテルに挟まれた道を歩きます。庭園の手入れされた赤や白のバラが見ごろでした。

新緑の馬入ふれあい公園に入ります、散策している人をチラホラと見受けますがそれほど多くはありません。ひらつかアリーナまで木立が続く道を川上へ歩き相模川土手に上がりました。馬入の渡し跡の石碑があります。江戸時代、幕府は大きな河川に橋を架けることを禁止。相模川には六十以上の渡し場がありました。大動脈である東海道は「馬入の渡し」と呼ばれ、幕府が管理、村の負担によって成り立っていました。



馬入の渡し跡～光と風の花づつみ～手作り風車～馬入水辺の楽校

相模川右岸を上流へ北上します。左手のひらつかアリーナは休館中、右手河川敷のサッカー場も使用禁止中で芝管理のためなのか散水していました。しばらく歩くと左手にサーキット場「ドリーム平塚」があり、ゴーカートが疾走していました。この辺りから工場地帯が広がっています。

河川敷への広場へ下ります、「光と風の花づつみ」と命名されています。ボランティアにより花が育てられていて、毎年5月の連休中に市民にポピー摘みを開放しています。この日はポピーは摘まれた後でした。カラフルな手作り風車が勢いよく回っている小道を進み、12時丁度に広場北の端の「馬入水辺の楽校」へ着きました。



水辺の楽校～トンビにパン取られる～国道1号線馬入橋～JR線鉄橋

水辺の楽校の説明板には「子どもたちが自然とふれあいながら、遊び、学び、冒険心、創造性を育む場所」と書かれていました。鉄製の風車があり、風車の回る力を利用して井戸のポンプを動かして水を汲み上げていました。その風車の下で「高久製パン」で購入したメンチパンとジャムパン、バナナとコーヒーの昼食。ところが事件が起きました。メンチパンを半分食べて左手に持っていたところ「バサ」という大きな音、一瞬何が起きたのかと思いました。トンビが後方から飛んできてパンを持っていきました。早々に引き上げて下流へ向かいます。向かい風を受け、国道1号線馬入橋の下を通り、JR東海道線の上り鉄橋と下り鉄橋の間から列車の写真を1枚。



JR東海道線鉄橋～河川敷～水門で土手へ～馬入橋水位水質観測所

河川敷を下流へ進みます。風強く海の方に黒い雲が出てきました。水門のところで河川敷が終わり土手へ上がります。茅ヶ崎岸近くのところをウインドサーファーが凄いスピードで走っていました。強風のためか、国土交通省の職員が自転車で巡回中、13時40分に国土交通省が管理している馬入橋水位水質観測所へ着きました。



水位水質観測所～平塚漁港～港稻荷神社～湘南大橋～相模川河口

観測所の脇に平塚八景湘南潮来の説明板があり「この河口は海拔以下で海水が逆流し、満々と水をたたえていて、景観が水郷潮来に似ているので湘南潮来と名付けられた」と書かれています。隣に相模川八景湘南潮来と河口と刻まれた石碑がありました。山中湖から115kmの相模川、こちらの八景巡りも楽しそうです。

静かな平塚漁港の中には釣り人が何人か、港稻荷神社から河口へ歩きます。湘南大橋近くの栈橋でも釣り人がいました。134号線に設置されている吹き流しは、南からの風を受けてほぼ水平です。最河口の防波堤へ、波しぶきの遠くに江の島が霞んで見えました。



相模川河口～札ノ辻～ひらつか七福神えびす様の三島神社～自宅

河口の千石河岸にあるシラス屋さんも釣り船宿も荒天のためか休み、平塚魚市場は日曜日で休みでした。市場近くに、須賀の商人が各地に向かった起点の札ノ辻跡がありました。平塚駅方面に歩くと、ひらつか七福神えびす様の三島神社です、この日ふたつ目の七福神。ここから自宅までは10分ほど、14時55分に帰宅。



歩数計は2万809歩でした。新型コロナウイルス感染で交通機関を利用するのが難しい中で地元の街歩き、知らないこと発見で楽しいウォーキングでした。(いちむら記)